

8月自然教室だより
「平城宮跡・燕の埒入り」報告

辻本 信一

8月20日(月)、今年も平城宮跡、大極殿西隣のヨシハラにて、恒例の「燕の埒(ねぐら)入り」観察会を実施しました。

厳しい暑さが残るこの時期、今回からは、植物観察は避け、午後6時から「燕の埒入り」の観察のみとしました。参加者は、会員のご家族を含む11名。内5名の方は、今年初めての参加とのことでした。



【大極殿西隣のヨシハラ】

燕の埒は各地に点在していますが、その中でも約2,000㎡のヨシハラを有し毎年数万羽の燕が見られる平城宮跡は、駅からも近く毎年たくさんの方が見学者が訪れる「燕の埒入り」観察の名所となっています。



【燕の埒はすぐ先に】



【空を見上げ燕待ち】

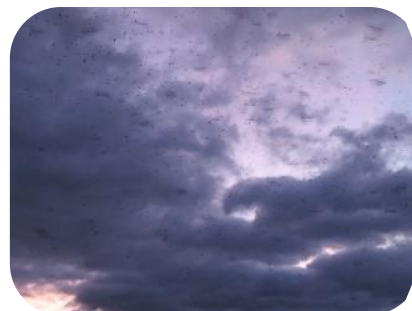
午後6時半を過ぎると、数羽の燕が徐々に姿を現わしはじめましたが、本番ピーク時の数とは大違い。はやる気持ちを抑えながら、更に待つこと15分。この頃になると、次々に群れを成して集まってきます。



【美しい夕暮れにウツトリ】

かなり上空の雲間からも次々と姿を現し、7時にはピークを迎えました。その時、誰もが発する

のが「すごい！まるでヒッチコックの『鳥』の場面を見てみたい！」の言葉。言い得て妙といったところでしょうか。

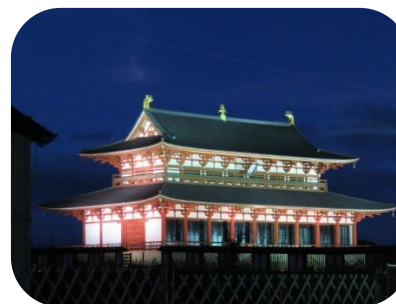


【迫力満点の燕の飛翔】

居合わせた野鳥の会の方のお話によると、ここ数年は確実に数を増やし、今年も5~6万羽は飛来しているとのこと。それと新たな情報として、近鉄線の線路を隔てた南側でも、今年はヨシの刈込みを控えたため、ヨシハラが残り、そちらにも1万羽前後の燕が埒入りしているとか。ますます規模が大きくなりうれしい気分になってしまいます。

今回参加された皆さまの感想は、一様に、「この素晴らしい自然をいつまでも残したい。大事にしたい。それにしてもこの素晴らしい光景を、ぜひ、他の人にもお見せしたい。」ということでした。この自然を守るためには、ヨシハラの保護と節度のある観察マナーが求められると感じる一日でした。

気がつけば日も沈み、あたりは暗く、大極殿のライトアップが映える時間となっておりました。



【大極殿のライトアップ】

7時20分過ぎ、燕の就寝を見届け、本日の自然観察会も無事終了、解散となりました。

自然教室チームでは、来年も引き続きこの観察会を継続し、健全な自然環境が維持されているかを見守って参りたいと思います。

まだ一度もこの燕の埒入りをご覧になったことの無い方は、ぜひ、次回の観察会にご参加ください。



自然教室だより
「佐保台小学校放課後子供教室」報告

辻本 信一

今年の夏は記録的な猛暑に見舞われ、全国で熱中症による子供の犠牲者も数多く出ていることから、例年9月上旬に予定されている佐保台小学校放課後子供教室の昆虫観察会は、学校からのご要望もあり、時期を当初の予定から2週間ずらし、9月19日(水)に(炎天下の校庭での昆虫採取は取りやめその代わりとして)室内で昆虫にまつわるメニューを実施しました。



【受付の後みんなで元気に集合写真撮影】

参加者は、低学年が8割以上を占めましたが、1年生から6年生までの全学年にわたり、合計55名の児童が6班に分かれて参加してくれました。

私たちスタッフは(後半のメニューで講師をお願いした)中村さんを含めて10名ちょうど。

佐保台小学校からはコーディネーターのお母さんがた6名が見守りで参加してくださいました。

当日は予想通り日中30度を超す暑い日となりましたが、終始冷房のきいた広い家庭科室で自然

教室を実施することができ、子供たちの集中力も高まり元気いっぱい楽しんでくれました。



【子供達の豊かな発想が爆発】

前半のセミをテーマにした松ぼっくりの鱗片(りんぺん)を使った木の台座への自然工作では、子供たちの自由な発想が昆虫の枠を超えて次々爆発。どれもこれも想像もできないようなユニークな作品ばかりで、見ていてこちらまで楽しくなりました。

幸い材料は人数分以上に準備していましたが、多い子は3つ、4つの作品を作ってくれました。

休憩を挟んでのメニュー後半では、当会会員で「ならまち糞虫館」の館長でもいらっしゃる中村圭一さんに講師をお願いし、糞虫を中心に「昆虫のお話」をご披露いただきました。



【珍しい糞虫の話にみんな興味津々】

中村さんは、長年の念願が叶い、今年7月に「ならまち糞虫館」をオープンされました。開館とともにマスコミにも数多く取り上げられ、最近でも新聞やテレビに、ご本人も登場され、紹介されていますので、ご存知の方も多と思います。

子供たちのみならず私たちも直接珍しい昆虫の話が聞けるので楽しみにしていましたが、期待通り、奈良公園で採取されたルリゼンチコガネはじめ世界中の眩いばかりに光り輝く宝石のような糞虫が写真とともに次々と紹介され、子供たちの目も輝いておりました。



【奈良公園の糞虫】

【世界の珍しい糞虫】

「ならまち糞虫館」の場所は、小西通り(別名桜通り)をそのまま南に下り、ならまち大通りを横切り200mほど過ぎた路地を東側に数軒入ったところ。近くまで行けば看板もあり分かると思いますので、是非一度、皆様も足をお運びください。ただし、土曜・日曜の午後1時から5時までの開館で、入場料は300円です。

中村様、スタッフの皆様、ご協力ありがとうございました。

これからもよろしく願いいたします。